

一般社団法人 日本原子力学会
第 84 回 標準委員会 議事録

1-1 日 時：2021 年 6 月 2 日（水）10：00～17:20

1-2 会議方式：Web 会議

1-3 出席者（敬称略）

（出席委員）関村委員長，山本副委員長，成宮幹事，井口，石川，伊藤，牛尾，尾崎，小澤，金子，木倉，越塚（審議案件途中退席），酒井，高田，高橋，竹山，中井，中村（武），中村（雅），松井，三宅，椋木，山口，吉原（24 名）

（代理委員）鬼沢邦雄（システム安全専門部会副部会長/岡本委員代理）（1 名）

（委員候補者）田中 裕治（日本原燃）（1 名）

（フェロー委員）宮野（1 名）

（常時参加者）鈴木（1 名）

（欠席常時参加者）佐々木，藤澤（2 名）

（オブザーバー）田村 明男（原子燃料サイクル専門部会幹事），藤崎 恭史（関西電力）（2 名）

（説明者） 【標準活動基本戦略タスク】成宮主査，【システム安全専門部会 長期運転体系検討タスク】村上主査，中川幹事，伊藤・倉本常時参加者，【システム安全専門部会 BWR 熱流動評価分科会】工藤主査，中村幹事，【リスク専門部会 断層変位 PRA 作業会】糸井主査，酒井幹事，【システム安全専門部会 統計的安全評価手法標準分科会】工藤主査，尾崎委員，【原子燃料サイクル専門部会 リサイクル燃料貯蔵分科会】白井幹事，【原子燃料サイクル専門部会 LLW 廃棄体等製作・管理分科会】梅原幹事，柏木委員，【リスク専門部会 レベル 1PRA 分科会】桐本副主査，橋本幹事，【基盤応用・廃炉技術専門部会 廃止措置分科会】田中幹事，【システム安全専門部会 炉心燃料分科会】福田委員，笹川委員，【原子力安全検討会】成宮幹事，高田委員，【リスク専門部会 JIWG】砂田コーディネータ（延べ 24 名）

（事務局） 田老，牧野，正岡（3 名）

1-4 配布資料：

- SC84-0 第 84 回標準委員会議事次第（案）
- SC84-1 第 83 回標準委員会議事録（案）
- SC84-2-1-1 標準委員会の活動方針の確認と基本戦略にかかる検討
- SC84-2-1-2 標準活動基本戦略タスク2021年度第1回議事録（案）
- SC84-2-1-3 2021年度-2022年度計画（工程）
- SC84-2-1-4-1 2020年度活動報告2021年度活動計画
- SC84-2-1-4-2 2020-2021年度委員会引継資料（標準委員会）
- SC84-2-1-5 2020年度第4回標準活動運営委員会議事録（案）
- SC84-2-2 2021年度標準委員会の日程について（案）
- SC84-2-3-1-1 民間規格の技術評価の実施に係る計画について
- SC84-2-3-1-2 技術評価対応者について（提案）
- SC84-2-3-1-3 2021年5月25日規制庁との面談概要
- SC84-2-4 正誤表の管理強化，改定標準への確実な反映について

SC84-2-5-1	Web 会議を主体とした学協会規格ピアレビューの対応について（案）
SC84-2-5-2	学協会規格ピアレビュー計画書（案）
SC84-2-6	標準策定5か年計画及び技術評価運営細則のHP掲載について
SC84-3-1-1	長期運転体系検討タスクの結果概要
SC84-3-1-2	長期運転体系検討タスクのレポート案
SC84-3-2	2021 年秋の大会（9/8-10, 北大 or オンライン）企画セッション提案書
SC84-4	標準委員会における倫理について
SC84-5-01	人事について（標準委員会）
SC84-5-02	人事について（専門部会）
SC84-5-03	標準活動基本戦略タスク委員名簿
SC84-6-01	“BWRの核熱水力安定性評価基準：202X” 標準改定原案の制定・発行について
SC84-6-02	“原子力発電所に対する断層変位を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：202X” 転載許諾手続きの状況等を踏まえた「制定の承認（第83回標準委員会：2021年3月3日）」版からの変更点について
SC84-6-03-1	“統計的安全評価の実施基準：202X” に関する公衆審査の結果について
SC84-6-03-2	公衆審査コメントへの対応
SC84-6-04	“使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：202X” に関する公衆審査の結果について
SC84-6-05-1	“浅地中ピット処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法－ドラム缶形態編－” 標準原案に関する決議投票の結果について
SC84-6-05-2	“浅地中ピット処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法－ドラム缶形態編－”（案）の標準委員会 書面投票ご意見一覧表
SC84-6-05-3	“浅地中ピット処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法－ドラム缶形態編－”（案）の標準委員会 書面投票ご意見への対応の変更点比較表
SC84-6-05-4	“浅地中ピット処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法－ドラム缶形態編－” 標準改定原案
SC84-6-06-1	“原子力発電所の内的事象を起因とした確率論的リスク評価に関する基準及び同指針（レベル1 PRA編）202X” 標準原案の中間報告に関する意見募集の結果について
SC84-6-06-2	“原子力発電所の内的事象を起因とした確率論的リスク評価に関する基準及び同指針（レベル1 PRA編）202X” 新規標準案に関する標準委員会中間報告後の意見募集で受け付けたご意見への対応について
SC84-6-07-1	“原子力施設の廃止措置の基本安全原則：20XX” 制定の中間報告に関する意見募集結果について
SC84-6-07-2	“原子力施設の廃止措置の基本安全原則：20XX” 制定の中間報告に関する標準委員会意見募集で受け付けた意見への対応について
SC84-6-07-3	“原子力施設の廃止措置の基本安全原則：20XX” 制定の中間報告に関する標準委員会意見募集で受け付けた意見への対応表
SC84-6-07-4	“原子力施設の廃止措置の基本安全基準（旧名：原子力施設の廃止措置の基本安全原則：20XX）” 完本（案）
SC84-6-08-1	“実用発電用原子炉施設の廃止措置の計画：20XX” 改訂の中間報告に関する意見募集結果について

- SC84-6-08-2 “原子力施設の廃止措置の計画：20XX” 制定の中間報告に関する標準委員会意見募集で受け付けた意見への対応について
- SC84-6-08-3 “原子力施設の廃止措置の計画：20XX” 制定の中間報告に関する標準委員会意見募集で受け付けた意見への対応表
- SC84-6-08-4 “実用発電用原子炉施設の廃止措置計画策定基準：20XX（旧名：“原子力施設の廃止措置の計画：20XX”） 完本（案）
- SC84-6-09-1 “発電用軽水型原子炉の炉心及び燃料の安全設計に関する報告書”（技術レポート）に関する意見募集の結果について
- SC84-6-09-2 “発電用軽水型原子炉の炉心及び燃料の安全設計に関する報告書” 改定（案）の最終報告 前回標準委員会（20200909）ご意見への対応
- SC84-6-09-3 “発電用軽水型原子炉の炉心及び燃料の安全設計に関する報告書”（技術レポート）の完本版（最新版）
- SC84-6-09-4 “発電用軽水型原子炉の炉心及び燃料の安全設計に関する報告書”（技術レポート）最終報告 別紙-2標準委員会審議の役割，確認すべき事項等の説明
- SC84-6-10-1 技術レポート “外的事象に対する原子力安全の基本的考え方”（案）について
- SC84-6-10-2 技術レポート “外的事象に対する原子力安全の基本的考え方”（案）
- SC84-6-10-3 技術レポート “外的事象に対する原子力安全の基本的考え方” 別紙-2標準委員会審議の役割，確認すべき事項等の説明
- SC84-6-11 “BWRの時間領域安定性評価の実施基準（仮称）” の新規制定について
- SC84-6-12 JCNRM参加報告（2021年2月）

参考資料

- SC84 参考 1 標準委員会委員名簿（案）
- SC84 参考 2 標準委員の出席状況及び投票状況
- SC84 参考 3 標準委員会の活動状況
- SC84 参考 4 専門部会の活動状況

2 議事内容

（1）定足数の確認

事務局から，開始時点で委員（フェロー委員含め）26 名中，26 名全員の出席があり，委員会成立に必要な定足数（18 名以上）を満足している旨の報告があった。

（2）前回議事録の確認（SC84-1）

事務局から，前回議事録（案）の報告が有り，承認された。

（3）標準活動基本戦略タスクの活動

（3-1）【報告】（SC84-2-1-1～2-1-5）

標準活動基本戦略タスクの報告と論点

（担当：標準活動基本戦略タスク 成宮主査）

標準活動基本戦略タスク 成宮主査から SC84-2-1-1～2-1-5 に基づき，標準委員会活動方針の確認と基本戦略にかかる検討，2021 年度第 1 回議事録の確認，2021 年度-2022 年度計画（工

程)について、2020 年度活動報告及び 2021 年度活動計画、2020-2021 年度委員引継ぎ、2020 年度第 4 回標準活動運営委員会議事録について報告があった。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

Q：標準委員会の基本方針と戦略の見直しは進めてほしいが、標準活動基本戦略タスクの中の担当は？コメントは誰に送るのか？

A：標準タスク幹事会のメンバーで、委員会委員 1 名、4 専門部会から各 1 名で、計 6 名程度で行う予定。本日承認いただければ依頼を出す。コメントは成宮までいただきたい。

(3-2) 【報告】(SC84-2-2)

2021 年度標準委員会の日程について

(担当：事務局)

事務局から SC84-2-2 に基づき、2021 年度標準委員会の日程について提案があり、暫定的に次回開催日を 9 月 1 日(水) 午後開催として決定した。また会議形式については、今後の状況を見て検討することになった。

(3-3) 【報告】(SC84-2-3-1-1～2-3-1-3)

技術評価への対応について

(担当：事務局)

事務局から SC84-2-3-1-1 に基づき、民間規格の技術評価の実施に関わる計画の報告があった。引き続き SC84-2-3-1-2 に基づき、技術評価対応者について提案があり、関村委員長から配布資料通りの指名があった。また SC84-2-3-1-3 に基づき、2021 年度 5 月 25 日に行われた規制庁との面談について報告があった。

(3-4) 【報告】(SC84-2-4)

標準の正誤表の管理強化について

(担当：事務局)

事務局から SC84-2-4 に基づき、標準の正誤表の管理強化についての報告があった。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

C：別紙 2 の修正は管理を強化する策として相応しいと思うが、審議細則の変更に必要と思う。確認してほしい。

A：確認のうえ、必要であれば審議細則の修正を行う。

(3-5) 【報告】(SC84-2-5-1, 2-5-2)

学協会規格ピアレビューへの対応について

(担当：事務局)

事務局から SC84-2-5-1, 2-5-2 に基づき、学協会規格ピアレビューへの対応について報告があった。

(3-6) 【報告】(SC84-2-6)

標準策定5か年計画、技術評価運営細則のHP掲載について

(担当：事務局)

事務局から SC84-2-6 に基づき、標準策定 5 か年計画と技術評価運営細則をHPに掲載した旨の報告があった。

(4) 報告事項

(4-1) 【報告】(SC84-3-1-1, 3-1-2)

長期運転体系検討タスクの最終報告(含む、当該タスクの提言について)

(担当：システム安全専門部会 長期運転体系検討タスク 村上主査，中川幹事，伊藤・倉本 常時参加者)

システム安全専門部会 長期運転体系検討タスク 村上主査から SC84-3-1-1, 3-1-2 に基づき結果報告があり，審議の結果，SC84-3-1-2 レポート案について，30 日間の意見募集を行うこととなった。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：今回の提言は誰に向けたものか？

A：標準委員会と電気協会を意図している。

C：学協会規格類協議会が提言を受ける相手として適しており，協議会の場でも説明すべき。

C：新検査制度以前の保全プログラムを中心とした検査制度下ではJEAC4209を中心として、PLMとも良くかみ合っていた。今の検査制度の検討がどのように進められたか検討することが、JEAC4209とのギャップ感を理解するのに有用である。

Q：今回のレポートはどのように扱うか？また、内容についてコメントする機会はあるか？

A：どのように扱うか，標準委員会で検討していただきたい。検査制度について深掘すべきといった要望があれば，次の活動につなげることもあり得る。現時点では標準委員会の内部レポート。

C：規格類協議会のレポートとして，各学会への提言とすることも考えられ，効果的な展開が必要である。

C：外部事象については電気協会でも検討しており，それとの協業・共同に結びつくような整理もしたい。

C：次回の規格類協議会幹事会で説明をしてほしい。

A：電気協会の規格委員会でも結果を説明する予定。

(4-2) 【報告】(SC84-3-2)

原子力学会2021秋の大会 標準委員会企画セッションの提案について

(担当：標準活動基本戦略タスク 成宮主査)

標準活動基本戦略タスク 成宮主査から SC84-3-2 に基づき，原子力学会 2021 秋の大会標準委員会企画セッションの提案について報告があった。

(5) 倫理教育 (SC84-4)

関村委員長からSC84-4に基づき，標準委員会における倫理についての議論が行われた。各専門部会委員にも参加を呼び掛けた結果，全体で83名の参加があった。内訳は標準委員会（委員候補者1名含む）27名中25名，専門部会は重複者を除く81名中57名であった。

主な議論は以下の通り。

C：標準活動は新検査制度対応や安全性向上への取り組みなどの事業者の活動に足並みを揃え、使いやすい標準であってほしい。

C：事業者だけでなく多くのステークホルダーの意見を幅広く聴取して社会との関係を考慮して標準策定を行うなど、標準活動の目指すところを考えるべき。

Q：標準活動の目指すレベルとして全ての委員が脱慣習レベルとなると、組織活動の統制維持が難しくなるのではないか？

A：脱慣習だけを考えればよいのではなく、慣習レベルなどの下層の行動も必要で、標準活動はそのような土台の上に更に上のレベル、つまり「ルールの提案」も目指すということ。

(6) 人事について (SC84-5-01～5-03)

I. 事務局から SC84-5-01, 5-02 に基づき，標準委員会，専門部会の人事について以下の提案及び報告があった。

a. 標準委員会

①理事会による委員再任承認の確認

酒井 俊朗	電力中央研究所	2021. 3. 23 理事会承認
中村 武彦	日本原子力研究開発機構	2021. 3. 23 理事会承認
中村 雅人	日本原子力保険プール	2021. 3. 23 理事会承認
山本 章夫	名古屋大学	2021. 3. 23 理事会承認
山口 献	東京電力ホールディングス	2021. 3. 23 理事会承認
石川 顕一	東京大学	2021. 3. 23 理事会承認
高田 孝	日本原子力研究開発機構	2021. 3. 23 理事会承認

②委員退任の確認

大柿 一史	日本原燃	2021. 06. 01
-------	------	--------------

③フェロー委員退任の確認

成合 英樹	元筑波大学	2021. 03. 31
-------	-------	--------------

④常時参加者登録解除の確認

坂本 悠哉	原子力規制庁	2021. 04. 19
-------	--------	--------------

⑤委員選任の決議

田中 裕治	日本原燃
-------	------

⑥専門部会長選任承認の決議

高橋 邦明	日本原子力研究開発機構
-------	-------------

⑦常時参加者登録承認の決議

椎名 健一郎	原子力規制庁
--------	--------

理事会による委員再任承認，委員選任が確認された旨の報告があった。審議の結果，委員の選任，常時参加者登録承認，及び専門部会長選任承認が決議された。

b. リスク専門部会

①常時参加者登録解除確認の確認

成宮 祥介	原子力安全推進協会	2021. 04. 01
-------	-----------	--------------

②委員再任決議の承認（決議）

五十嵐 祐介	日本原子力発電	2021. 08～2023. 07
中島 清	三菱総合研究所	2021. 08～2023. 07

常時参加者登録解除確認が確認され，審議の結果，委員再任決議の承認が決議された。

c. システム安全専門部会

①委員退任確認の確認

荻田 利幸	関西電力	2021. 04. 06
-------	------	--------------

②常時参加者登録解除確認の確認

成宮 祥介	原子力安全推進協会	2021. 04. 01
-------	-----------	--------------

③所属変更確認の確認

松本 昌照	エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ
-------	----------------------

④委員選任決議の承認（決議）

尾家 隆司 関西電力

⑤委員再任決議の承認（決議）

後藤 大輔 グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン 2021.08～2023.07

鎌田 信也 原子力安全推進協会 2021.09～2023.08

委員退任確認等が確認され、審議の結果、委員選任・再任決議の承認が決議された。

d. 基盤応用・廃炉技術専門部会

①所属変更確認の確認

松本 昌照 エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ

②委員再任決議の承認（決議）

野依 哲生 関西電力 2021.08～2023.07

藤井 裕 日本原子力発電 2021.08～2023.07

山路 哲史 早稲田大学 2021.08～2023.07

委員の所属変更確認が確認され、審議の結果、委員再任決議の承認が決議された。

e. 原子燃料サイクル専門部会

①委員再任決議の承認（決議）

林 宏二 電気事業連絡会 2021.08～2023.07

大間 知行 日本原燃 2021.09～2023.08

片岡 秀哉 関西電力 2021.09～2023.08

審議の結果、委員再任決議の承認が決議された。

II. 標準活動基本戦略タスクの人事

事務局から SC84-5-03 に基づき、標準活動基本戦略タスクの人事について報告があった。

6 審議事項

(1) 【報告・審議】（SC84-6-01）

“BWRの核熱水力安定性評価基準：202X” 標準制定後の修正について

（担当：システム安全専門部会 BWR熱流動評価分科会 工藤主査，中村幹事）

システム安全専門部会 BWR 熱流動評価分科会 工藤主査，中村幹事から SC84-6-01 に基づき、題記標準制定後の修正について報告があり、審議の結果、本修正内容で再制定・発行することが決議された。

(2) 【報告・審議】（SC84-6-02）

“原子力発電所に対する断層変位を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：202X” 転載許諾手続きの状況等を踏まえた「制定の承認（第 83 回標準委員会）」版からの変更点について

（担当：リスク専門部会 断層変位 PRA 作業会 糸井主査，酒井幹事）

リスク専門部会 断層変位 PRA 作業会 糸井主査，酒井幹事から SC84-6-02 に基づき、題記標準の変更点について報告があり、審議の結果、本修正内容で再制定・発行することが決議された。主な質疑、コメント等は以下のとおり。

Q：IAEA と共通で使用を予定していた図はもともと英語のキャプションを予定していたということか？それらを日本語にしたため転載許諾は不要となったのか？

A：当初は英語のキャプションを予定していた。キャプションを日本語にするとともに図を伝えたい内容を変えずに簡略化している。

Q:意味が変わらないということについて確認したい。

A:例えば、図 J.1 は断層の中央部で断層変位が大きくなるということを示す図であるが、当初案では3種類の非超過確率による曲線を示していた。しかしそれらの傾向は変わらないため、50%非超過の図のみにした。他の図も同様の考え方で簡略化を行っている。

(3) 【報告・審議】 (SC84-6-03-1, 6-03-2)

“統計的安全評価の実施基準：202X” 標準改定原案に関する公衆審査結果及び受け付けたご意見への対応について

(担当：事務局，システム安全専門部会 統計的安全評価手法標準分科会 工藤主査，尾崎委員)

事務局から SC84-6-03-1 に基づき，題記標準改定原案の公衆審査の結果，1 名の方からご意見があった旨の報告があった。引き続きシステム安全専門部会 統計的安全評価手法標準分科会 工藤主査から SC84-6-03-2 に基づき，公衆審査で受け付けたご意見への対応について報告があり，審議の結果，ご意見提出者へは修正を行わないこと，及び補足説明を記した本回答をすること，並びに制定・発行することが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：丁寧に回答されているが，回答文に用語の定義や参考文献などを書かなくても良いか？

A：回答文の記述は標準原案と対応しており，標準を参照すれば十分である。

(4) 【報告・審議】 (SC84-6-04)

“使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：202X” 標準改定原案に関する公衆審査結果について

(担当：事務局)

事務局から SC84-6-04 に基づき，題記標準改定原案の公衆審査の結果，ご意見がなかった旨の報告があり，審議の結果，本内容で制定・発行することが決議された。

(5) 【報告・審議】 (SC84-6-05-1～6-05-4)

“浅地中ピット処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法—ドラム缶形態編—” 標準原案の標準委員会決議投票結果及び受け付けたご意見への対応について

(担当：事務局，原子燃料サイクル専門部会 LLW廃棄体等製作・管理分科会 梅原幹事，柏木委員)

事務局から SC84-6-05-1 に基づき，題記標準原案の標準委員会決議投票の結果，可決されたこと，及び賛成で2名の委員から意見があった旨の報告があった。引き続き原子燃料サイクル専門部会 LLW 廃棄体等製作・管理分科会 梅原幹事，柏木委員から SC84-6-05-2～6-05-4 に基づき，決議投票で受け付けた意見への対応について報告があり，審議の結果，2 か月間の公衆審査へ移行することが決議された。

(6) 【報告】 (SC84-6-06-1, 6-06-2)

“原子力発電所の内的事象を起因とした確率論的リスク評価に関する基準及び同指針（レベル1 PRA編）202X” 新規標準案の中間報告に関する意見募集結果及び受け付けた意見への対応について

(担当：事務局，リスク専門部会 レベル1PRA分科会 桐本副主査，橋本幹事)

事務局から SC84-6-06-1 に基づき，題記新規標準案の中間報告に関する意見募集の結果，2 名の委員から意見があった旨の報告があった。引き続きリスク専門部会 レベル 1PRA 分科会 桐本副主査，橋本幹事から SC84-6-06-2 に基づき，意見募集で受け付けた意見への対応について報告があり，本報告への準備を進めることになった。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

C：基準・指針の二部構成は今回が初めてであり，今般制定に限らず継続して構成等のあり方を検討されたい。

C：想定読者として、一通りの PRA 技術を履修程度以上とするのは制限し過ぎであり、配慮
ありたい。

(7) 【報告】 (SC84-6-07-1～6-07-4)

“原子力施設の廃止措置の基本安全基準：20XX” 中間報告に関する標準委員会意見募集結果
及び受け付けたご意見への対応について

(担当：事務局，基盤応用・廃炉技術専門部会 廃止措置分科会 田中幹事)

事務局から SC84-6-07-1 に基づき、題記標準案の中間報告に関する標準委員会意見募集の結果、5 名の委員から意見があった旨の報告があった。引き続き基盤応用・廃炉技術専門部会 廃止措置分科会 田中幹事から SC84-6-07-2～6-07-4 に基づき、意見募集で受け付けた意見への対応について報告があり、内容不十分であることから、次回の標準委員会にて、再度報告を行うことになった。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

C：標準のタイトルを“基本安全原則”から“基本安全基準”に変更するという趣旨は理解できるが、その検討の経緯の説明が十分ではない。廃止措置分科会が行ってきた議論を踏まえ、これから発行しようとしている廃止措置に関連する標準の全体像とこの“基本安全基準”の位置付けを明確にすること。

C：適用範囲がどうしてこのような施設の分類になっているのかの説明が不十分である。実際の廃止措置認可申請手続きにもあっていない。法令の分類を用いるべきではないか。

C：廃止措置は対象施設が多岐にわたることから、基盤応用・廃炉専門部会だけでなく、関連のある他の専門部会でも記載の確認を行ってもらうこと。

(8) 【報告】 (SC84-6-08-1～6-08-4)

“実用発電用原子炉施設の廃止措置の計画：20XX” 制定の中間報告に関する標準委員会意見募集結果及び受け付けたご意見への対応について

(担当：事務局，基盤応用・廃炉技術専門部会 廃止措置分科会 田中幹事)

事務局から SC84-6-08-1 に基づき、題記標準制定案の中間報告に関する標準委員会意見募集の結果、3 名の委員から意見があった旨の報告があった。引き続き基盤応用・廃炉技術専門部会 廃止措置分科会 田中幹事から SC84-6-08-2～6-08-4 に基づき、意見募集で受け付けた意見への対応について報告があり、内容不十分であることから、次回の標準委員会にて、再度報告を行うことになった。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

C：“基本安全基準”でのコメントにこちらの標準でも対応すること。特に、この標準は“実用発電用原子炉施設”となっているが、それ以外の原子力施設についての計画についても明確にしておくこと。

(9) 【報告・審議】 (SC84-6-09-1～6-09-4)

“発電用軽水型原子炉の炉心及び燃料の安全設計に関する報告書” (技術レポート) 改定の中間報告に関する標準委員会意見募集結果及び受け付けたご意見への対応について

(担当：事務局，システム安全専門部会 炉心燃料分科会 阿部主査，福田委員，笹川委員)

事務局から SC84-6-09-1 に基づき、題記技術レポート改定の中間報告に関する標準委員会意見募集の結果、1 名の委員から意見があった旨の報告があった。引き続きシステム安全専門部会 炉心燃料分科会 福田委員，笹川委員から SC84-6-09-2～6-09-4 に基づき、意見募集で受け付けた意見への対応について報告があり、審議の結果、30 日間の意見募集を行うことが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

C：山本委員からコメントのあった BDDBA における炉心損傷の判断基準については、今後の知見収集やロードマップのローリングも俯瞰しながら、次回の改定時に、「判断基準の

明確化に資するためにはどのような検討が求められるか」等の提言を含めるようにしてほしい。

A: 拝承。炉心燃料の安全設計については、安全高度化ロードマップがローリングが行われ、安全設計については本技術レポートの改定が、実運用による安全の担保については JEAC4001 原子燃料の管理規程が策定されている。今後は、この3つの柱からなる体系のもと、必要なローリング・見直しとともに、必要に応じて具体的な下位の規程やレポートを作成する進め方で、BDBA についても対応をしていきたい。

(10) 【報告】 (SC84-6-10-1～6-10-3)

技術レポート“外的事象に対する原子力安全の基本的考え方”(案)について

(担当：原子力安全検討会 成宮幹事，高田孝委員)

原子力安全検討会 成宮幹事，高田孝委員から SC84-6-10-1～6-10-3 に基づき、題記技術レポートについての報告があり、技術レポートの中間報告では意見募集が必須ではないこと、及び意見募集の決議を経て行うものではないことを踏まえたうえで、より良い技術レポートになるよう30日間の意見募集を行うことになった。また本件については関村委員長より、多くの意見を出してもらうことが肝心であるため、30日間として期間を厳密に区切るものではないとの意向が添えられた。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：提言において連携をうたっているが、具体的にはどのようなものを作ることを考えているのか？

A：設計と評価をカバーする上位の標準のイメージで考えている。

(11) 【報告】 (SC84-6-11)

“BWRの時間領域安定性評価の実施基準(仮称)”の新規制定について

(担当：システム安全専門部会 BWR熱流動評価分科会 工藤主査，中村幹事)

システム安全専門部会 BWR熱流動評価分科会 工藤主査，中村幹事から SC84-6-11 に基づき、題記標準の新規制定についての報告があり、適切な時期に中間報告を実施できるよう、標準の作成を進めることになった。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：制定の目的として“評価上の対象事象の漏れをなくす”とあるが、この“漏れ”とは何か。

A：時間領域の評価手法を導入することで、過渡及び事故と同じ手法を導入できるため、過渡及び事故で取り扱う事象中に、核熱水力的な不安定が生じる場合についても解析できるということ。

(12) 【報告】 (SC84-6-12)

JCNRM (2021/2) 参加報告

(担当：リスク専門部会 JIWG 砂田コーディネータ)

リスク専門部会 JIWG 砂田コーディネータから SC84-6-12 に基づき、題記参加報告についての報告があった。

7 その他(次回日程等)

- ・ 次回は2021年9月1日(水)午後開催予定。
- ・ 関村委員長から標準委員会委員長退任の意向が示され、新委員長選任までは委員長として役目を果たすこと、また次期委員長には現副委員長である山本章夫先生を推薦する旨の発言があった。また事務局から委員長互選のやり方について、郵送による投票にするかは今後、委員長と相談して行きたい旨の説明があった。
- ・ 前幹事である伊藤委員から今回の委員会をもって退任する発言があった。

以上